

9.4 民間企業等による再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業

〈再エネの価格低減に向けた新手法による再エネ導入事業／建物における太陽光発電の新たな設置手法活用事業〉

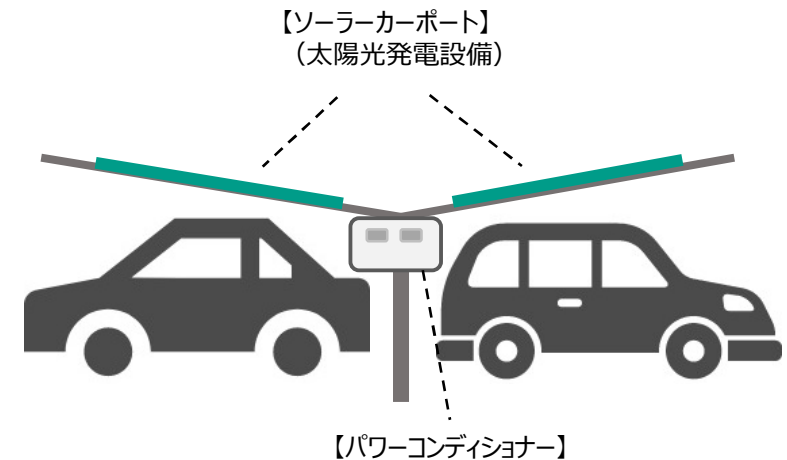
②ソーラーカーポートの新設による労働環境改善及び災害時の電力供給の検討

事業概要

事業者概要	事業者名	株式会社ハクイ村田製作所
	業種	製造業
事業所	所在地	石川県
	総延床面積	19,894.74m ²
補助金額	補助金額	約7,671万円
	補助率	1/3
主な導入設備	従前設備	—
	導入設備	ソーラーカーポート（太陽光発電設備、パワーコンディショナー）
事業期間	稼働日	2023年1月
区分		新設
特長		事業所の駐車場にソーラーカーポート（太陽光発電一体型カーポート）を駐車場に設置することで、日除けや雨除けとなり、従業員の労働環境の改善に寄与した。また、災害時の電力の確保が可能となったため、地域への電力供給を検討している。

システム図

実施後



写真

ソーラーカーポート



パワーコンディショナー

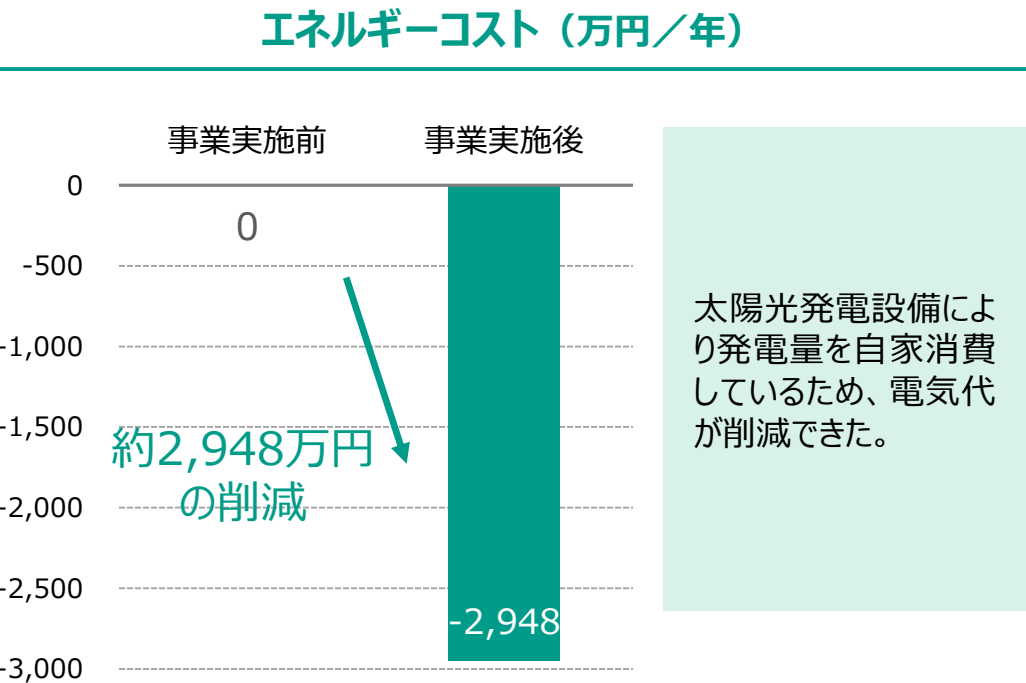
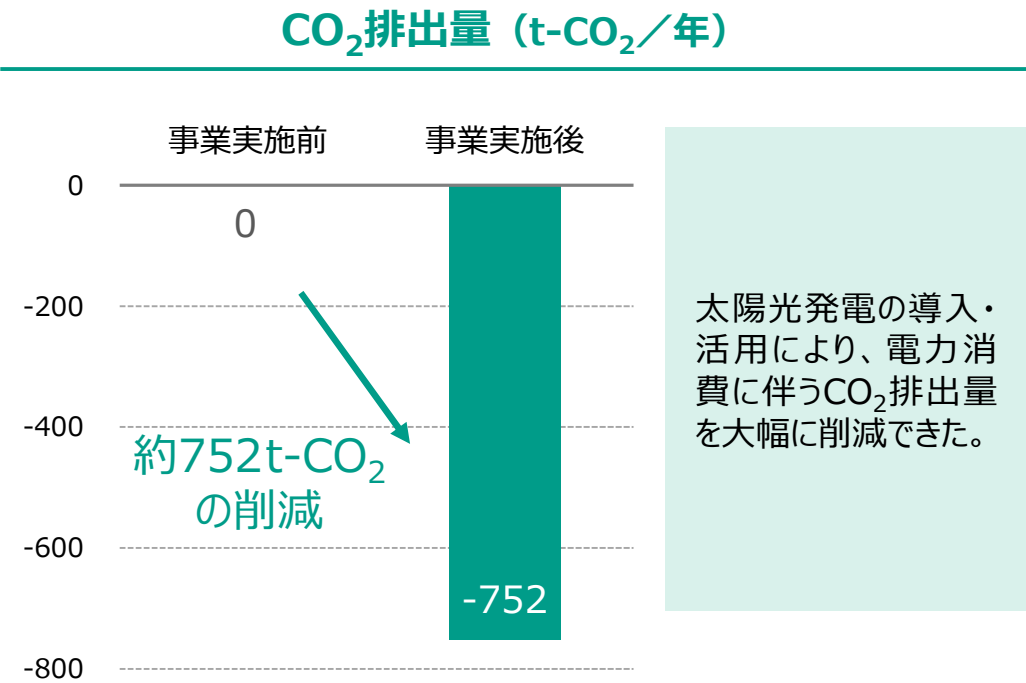


②ソーラーカーポートの新設による労働環境改善及び災害時の電力供給の検討

事業の効果

エネルギーコスト削減額		約2,948万円／年
投資回収年数	補助あり	約7年
	補助なし	約9年

CO ₂ 削減量	約752t-CO ₂ ／年
CO ₂ 削減コスト	6,001円／t-CO ₂



【脚注】
※ ここに示す事業の効果は、電力単価：22.7円／kWh（出典：電力・ガス取引監視等委員会HPを用いて試算したものである。）

②ソーラーカーポートの新設による労働環境改善及び災害時の電力供給の検討

事業によって実現できたこと／事業前にあった課題及びその解決方法

■「ソーラーカーポートの新設」によって、CO₂削減以外に、以下のような副次的効果があった。

- ・ 従業員用の駐車場が、実施前は吹き曝しの駐車場だったが、屋根付きのソーラーカーポートを設置したことで、屋根が雨除け・日除けとして機能し、雨の日に濡れずに車の利用が出来る等、従業員の労働環境改善に繋がった。
- ・ ソーラーカーポートにより発電された電力を災害時に地域へ供給してスマートフォンの充電等が出来るように検討する。

ソーラーカーポート設置により労働環境改善

実施前 吹き曝しの駐車場だったため、雨や日差しに当たっていた



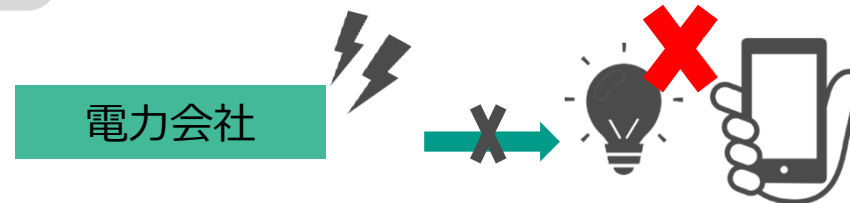
実施後 屋根付きソーラーカーポートにより従業員の労働環境改善に繋がった（太陽光発電設備）



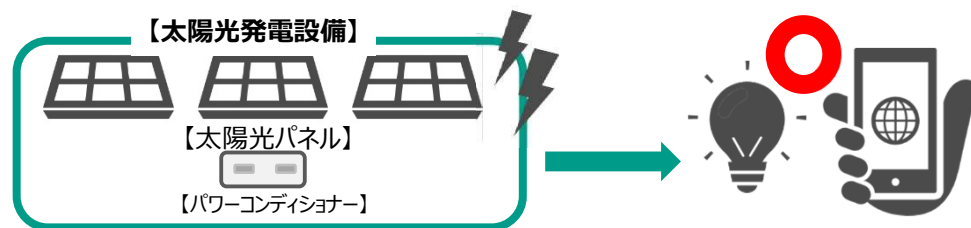
ソーラーカーポート新設により、**労働環境の改善**に繋がった。

設備新設による災害時の電力確保の検討

実施前 災害時には電力の確保が難しかった



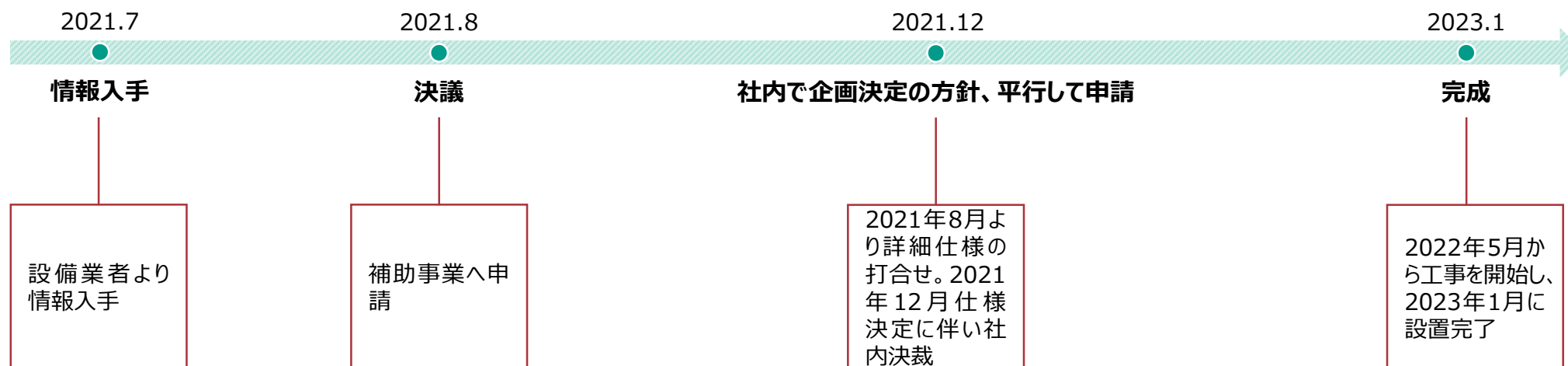
実施後 今後、災害時にソーラー発電による電力を地域へ供給することを検討する。



設備新設により、**災害時の電力確保**が可能となるよう検討する。

②ソーラーカーポートの新設による労働環境改善及び災害時の電力供給の検討

事業の経緯／今後の予定



事業者の声



担当者

事務課環境係

- 当社の太陽光パネル設置の特徴として、カーポートの屋根に裏面からも発電出来る「両面太陽光パネル」を採用し、反射光も無駄なく活用できる設計となっています。また、降雪時の除雪車の走行も容易にできる高さがあり、雪国に適した設計としています。当社は2050年までに「再エネ100%での生産活動」を目標とし、省エネを中心に日々、目標達成に向けて取り組んでいます。